

○ 地方開催の歌留多大会報道記事

昭和編 1~7

○

新聞切り抜き

忠実に記事を書き写しました。不明の文字は○または……で表示する

昭和時代編

昭和2年3月4日 北海タイムス

札幌上の句大曾

来る五日市内丸吉精養軒に於いて開催する下の句かるた大曾は既報の如くであるが同大曾出場のため地方の選手が多く集合するを機とし市内有志の主唱のもとに同大曾に引續き六日午後一時より同曾場に於て上の句の大曾を催す事になつたこの大曾には函館千早曾の主將高野君外五名も参加する事になつて居り當日は優賞者にトロフヰ入賞者には銀メタルを授與する事になつてゐる曾費五十錢

昭和2年3月7日 北海タイムス

江別歌留多大曾

毎年行はれて來た全道下の句歌留多大曾は本年も亦飛龍俱樂部主催本紙賣捌店高間新聞店後援の下に十二日と決定なし幹部は目下色々と準備中なるが今迄の申込は野幌、幌向、厚別、對雁篠津、當別等で極めて多數の豫想にて定めて盛大なる事ならん賞品も賞金の外に本社寄贈の金メタルを始め諸有志よりの寄贈品多き由入曾申込料は一組三人にて金三圓五十錢で地方よりの申込は曾場設備もある故なるべく早く申込まれたしと

昭和2年3月11日 北海タイムス

江別歌留多大曾

十二日江別町旗亭胡月に於て開催する飛龍俱樂部主催高間本紙專賣所後援の全道下の句歌留多大曾に各地方よりの申込も多く曾場の諸準備全く成りたれば此際一組でも多く入曾を希望する由まだ申込なきチームは當日八時の開曾前に申込まれたしと尚地方選手には別室の設備ある由

昭和3年1月20日 北海タイムス

札幌歌留多大曾

札幌勢氣俱樂部主催全道歌留多大曾は廿一日（土）午後六時より市内美滿壽館横通り廣田家に於て開催する曾費一人六十錢四人組瓣當付地方より多數の参加を希望すと

昭和3年1月30日 北海タイムス

全道かるた大曾

来る二月四日午後七時より栗山杉本料理店に於て東雲俱樂部主催本紙專賣店及び有志後援の下に全道かるた大曾を開催するを發表すると同時に各地より申込殺到し準備に忙殺せられてゐるが尚地方選手諸君は至急出場を友成印刷所へ申込を望むと

昭和3年2月2日 北海タイムス

本社各部対抗 下句かるた大曾

本社内各部対抗下の句かるた大曾は来る十一日の紀元節を以て正午より南大通り西四丁目丸キ支店階上に於て催すが激戦を演ずることゝ思はれる

昭和3年2月9日 北海タイムス

全道かるた大曾

既報全道かるた大曾は愈々十一日（祭日）午後七時より札幌市狸小路西一丁目旗亭ピエロに於て開かる旭川、小樽、幌内、俱知安、神居の各チームを始めとし全道の強チームの申込續々とあり、それに當大曾は兩手使用差支へなき事なれば定めし盛曾の事ならん

昭和3年2月13日 北海タイムス

本社 下の句歌留多曾

本社各部下の句歌留多大曾は十一日午前十時から大通西四丁目丸キ料理店で開催した参加チームは編輯、營業、文撰、銅版、鑄造、發送A、發送B、輪轉、配達の九組開曾の辭後直に競技に移り各部鎬を削り午後六時閉曾したが入賞は左の如くである

一等發送A、二等文撰、三等配達、四等編輯、五等銅版

尚各商店、新聞賣捌店其他有志より山の如き賞品の寄贈あり夫々入賞者に授與して無事散曾した

昭和3年2月16日 北海タイムス

全道歌留多大曾

来る二月十八日午後九時より札幌市内南大通り西四丁目北門銀行裏丸キそばやに於て四人一組曾費金三圓瓣當付きにて下の句歌留多大曾を開催致す由地方選手出場を希望す

昭和3年2月28日 北海タイムス

岩見澤全道歌留多大曾

岩見澤町梅ヶ枝俱樂部主催の第廿三回全道下の句歌留多大曾は愈々來月三日午後九時から同町旗亭もみぢに於て開催することになったが既に参加チームの申込は十數チームに達して目下役員は諸般の準備に忙殺されてゐるが曾費は三人一組三圓五十錢にして参加チームは此際至急申込まれたいと

昭和3年3月5日 北海タイムス

全道下ノ句歌留多大曾

来る三月十日陸軍記念日をして札幌毎日、北海道新報兩社主催小倉俱樂部後援の元に午後九時から札幌市薄野岡田家本店に於て全道下の句歌留多大曾を開催するが三人一組曾費三圓五十錢（瓣當付）尚同時に乙種大曾を開催し甲種棄権者を以て参加の特典を得さしむると因に全道各地にそれぞれ案内状を發送し既に申込たる組二拾數組に達して居る由なれば當日は定めし空前の盛況を呈するならんと申込は札幌市岡田家本店方へ

昭和3年3月16日 旭川新聞

全道歌留多大曾

帶廣町の十勝新報社主催全道下の句カルタ大曾は来る十七日午後六時より同町西二の十櫻川家で開催されるが要項は

三人一組、曾費一組三圓、競技法は一二三の各流に分つ

一流一等は銀カツプその他各流共賞金〇〇〇き振つて参加されたいと、申込は帶廣町西三の九十勝新報社へ

昭和3年3月17日 北海タイムス

札幌かるた曾

札幌印刷同業者かるた大曾は今十七日午後八時より同市南五條西四丁目鈴蘭バーに於て開催する由なるが四人一組曾費一組二圓四十錢瓣當附同業者多數の出場を望んで居ると

昭和4年1月3日 北海タイムス

小樽初春の催し物

己巳の新春を迎へた小樽お正月の催し物は次の通りである

△下句歌留多曾（若松町公衆食堂）二日六時

昭和4年1月11日 北海タイムス

歌留多大曾

十二日札幌市南三條東一丁目伊藤旅館に於て吉野クラブ主催にて全札幌歌留多大曾を催すが曾費七十錢三人一組の由

昭和4年1月21日 北海タイムス

小樽カルタ曾

小樽下の句歌留多界に重きをなす巴城俱樂部主催の全道下の句歌留多競技大曾は來二月十日開催に決定し曾場は追つて發表の筈であるが参加希望の向きは市内住之江町七ノ一五山城方へ申込まれたいと曾費は五人一組三圓のこと

昭和4年1月25日 北海タイムス

下の句かるた大曾

札幌市布袋クラブ主催の下の句かるた大曾は二月二日午後八時から市内南五條料理店やまにて開催するが一組四人曾費四圓多數の参加を希望すと

昭和4年1月30日 北海タイムス

上の句かるた

上の句かるた曾は来る二月二日札幌市公會堂日本間に於て北海道吉野曾主催東京吉野曾本部後援の下に第二回素人競技曾は午後正五時より開く由

昭和4年2月4日 北海タイムス

上句カルタ曾 非常な盛曾

上の句かるた競技曾は既報の如く二日札幌市公會堂廣間に於て開催された集まる者六十有餘名の盛曾を極め銘吟小林五郎氏の朗々たる君が代に次で『久方の光のどけき』の札より戦ひの火蓋は切つて落された遠地よりの参加者多く接戦二十餘時間に亘り戦跡左の如くであつた

▽第二回素人競技曾一等角田勝三、二等赤井潔、三等彦坂重信、四等山口武雄、五等渡邊保、六等太刀川榮作△全道選手第四回大曾入賞者全部吉野曾一等小林勝行、二等宮田二郎、三等近藤保太郎、四等田島多聞

昭和4年3月6日 北海タイムス

歌留多大曾

来る三月十六日（土）札幌薄野鈴蘭に於て勢氣俱樂部主催の下に歌留多大曾を開催す四人一組曾費一人七十錢（瓣當付）多數愛好者並に地方選手の参加されん事を希望すと

○昭和5年1月5日 北海タイムス

全道下の句かるた曾

第二回全道下の句かるた大曾は来る十一日（土）午後八時から札幌市郊外札幌温泉（電車二十丁目から馬橋の便あり会場は撞球場食堂、賣店の設あり）で開催されるが主催は闘牌俱樂部で曾費は三人一組で瓣當及風呂付きで三圓五十錢で賞は總額五十五圓で三等迄九時抽籤十時迄に競技開始の筈で南五條西一丁目高下方同俱樂部又は當日会場に申込まれ度い

昭和5年1月8日 北海タイムス

上の句かるた

上の句かるた北海道吉野曾は初心者の為来る十九日（日曜日）午前十時より札幌市公會堂日本間大廣間に於て第三回素人競技曾を開催する競技は個人競技各自持札二十五枚曾費五十錢當日持參關東關西各かるた曾寄贈銀牌を入賞者に呈す尚練習は毎週日曜日午後一時より五時迄札幌北五西十一小林五郎氏宅にて參觀隨意

昭和5年2月1日 北海タイムス

かるた大曾

本一日午後八時より札幌南七條西七丁目新月亭に於て第六回札幌印刷業者かるた大曾を開催す四人一組曾費二圓四十錢瓣當付振つて參曾を希望すと

○昭和6年2月4日 旭川新聞

比布かるた曾

比布村の歌留多同好者は二月一日午後七時より同村市街地旗亭に地元歌留多大曾を開催、曾するもの卅餘名に達し各自妙技を揮ひ翌午前三時散曾したが仲々の盛曾であつた

昭和6年2月14日 旭川新聞

東神樂かるた曾

二月十四日午後七時より東神樂村若浪俱樂部主催で同市街神樂曙階上においてかるた大曾を開くが曾費は三人一組一円であると

昭和6年2月27日 北海タイムス

かるた大曾

札幌市内明星俱樂部主催の全道下の句かるた大曾は二十八日午後七時から山鼻俱樂部で開催するが一流二流三流に分け交戦し決勝は三月一日夕頃になる見込みだと

昭和7年1月16日 旭川新聞

近村歌留多大曾

神樂村東神樂市街若浪俱樂部では十六日午後七時より同地三野屋において近村對抗歌留多大曾を開催すべく目下猛練習中であるが同俱樂部の選手は左の如く
一組竹内、丸田、岸田 二組、瀧本、森田、原田 三組、伊藤、三野、相原
四組長井、井上、谷口 五組、伊藤、畠山、坂上 六組、藤川、淵上、開根

昭和7年1月19日 旭川新聞

東神樂歌留多大曾

既報上川郡神樂村字東神樂市街地若浪俱樂部主催の下に去る十六日午後七時より市街地三野料理店方において本村近郷歌留多大曾を開催したが各村より集るチーム十二組で盛会裡に翌午前五時半閉曾した因に當日の入賞者左の如し
一等（旭川革新）日光、山本、平田、二等（東川スマランA）清水、山中、稻井
三等（東神樂寒月）竹内、岸田正、丸田

昭和7年2月27日 北海タイムス

全道加留多大曾

江別町木ノ芽俱樂部主催高間新聞店後援の全道下の句歌留多大曾は二十七日午後七時より旗亭胡月に於て開催すべく曾費は三人一組金三圓（瓣當付）賞金の他副賞も澤山にて幌内、當別、野幌、札幌、岩見澤等よりの参加あり盛会を豫想されてゐる

昭和7年3月2日 旭川新聞

野町歌留多大曾

野付牛町廣静俱樂部主催の全北見歌留多大曾は来る三月五日午後六時より野付牛町二ノ西三江戸長において開催されるが盛会を豫想さる曾費一流三圓、二流二圓四十錢、三流一圓五十錢

昭和7年3月15日 北海タイムス

曾と催し

◇十九日午後七時より東雲俱樂部主催かるた大曾を開く会場は狸小路五丁目アサヒ食堂

昭和8年2月6日 旭川新聞

東北海道かるた大曾 十日本別で

本別の年中行事の一つとして回を進むる事正に第五回帝摩俱樂部主催の下の句東北海道かるた大曾は来る二月十日午後八時より旗亭土橋大廣間に於て十勝新聞本別支局本社分局等の後援の下に、はなばなしく開催する事になった遠く釧路網走等よりの申込も相當にあり豫想以上の盛会であらうとなほ本社よりはメダルを贈呈した

昭和8年3月3日 旭川新聞

多寄かるた曾

多寄歌留多俱樂部主催になる北部北海道かるた大曾はその後曾場の都合により延期されてゐたが愈々來る四日午後六時より多寄驛前尾張屋待合において開催することに決定した

昭和9年1月30日 旭川新聞

占冠かるた大曾盛況

勇拂郡全占冠かるた大曾は中央青年曾館において中央青年支部女子青年支部後援の下に一月二十六日午後六時より開催されたが参加チームは山嵐春雨熱血櫻山羽衣OK三笠燕隼小早等の熱血の闘士のチームは午後十一時まで覇を争ひ中でも女流チームの活躍は人目をひきわくが如き應援と觀覧者を以ってさしもに廣き曾館も立錐の餘地なき盛況を呈して盛会裡に閉曾した、因に榮冠チームは一流春雨、二流は三笠等である

昭和10年1月13日 旭川新聞

網走町

かるた大曾 けふ局樓上で

網走町のかるた大曾のトップを切った網走郵便局内遞友俱樂部大曾は十三日午後三時から局樓上において盛大に開催される

昭和10年1月25日 旭川新聞

中部北海道カルタ大會

中部北海道新報カルタ大會は廿六日午後八時より筑紫市街「太陽」において開催、曾費一組二圓多數参加を望むと

昭和10年2月3日 旭川新聞

広告

オール網走

歌留多大會

期日 二月十日 参加規程

場所 いくよ樓上 ▲曾費二流一組三圓▲三流一組一圓八十錢（瓣當附）

賞品 優勝旗・メタル・正金その他澤山

主催 旭川新聞網走支局

後援 網走 夕霧俱楽部

昭和10年2月8日 旭川新聞

広告

オール網走

歌留多大會

期日 二月十日 参加規程

場所 いくよ樓上 ▲曾費二流一組三圓▲三流一組一圓八十錢（瓣當附）

賞品 優勝旗・メタル・正金その他澤山

主催 旭川新聞網走支局

後援 網走 夕霧俱楽部

昭和10年2月21日 旭川新聞

正月過ぎても

盛んな歌留多 潤川で全空知大會

潤川町流星俱楽部が主催となり来る二月二十三日『土曜』午後七時より三浦華園大廣間において全空知歌留多下の句大會を開催し曾費一組二圓二十錢にて本年度悼尾の大會の事尚参加申込多數にて定めし盛會ならんほ一般の申込み觀迎してゐる

昭和10年3月5日 旭川新聞

かるた大會

二十八日午後七時より留辺蘿町上○龜家カフェーにおいて全北見加留多下の句大會開催、全北見の猛者チーム出場して○○又○○○○○○いたらざるなく息詰る情景を展開して三月一日午前七時遂に榮冠は遞友俱樂部に優勝牌および本社メダルを獲得された。即ち一等遞友、二等吹雪、三等遞友に對して、夫々賞状賞品を授與空前の盛會裡に閉會した

昭和11年2月13日 旭川新聞

根室歌留多大會

八日午後八時より根室町緑町、松の家において千早俱樂部主催、潮俱樂部後援の全根室歌留多大會は各町村よりも多數参加あり九日午前九時終了したが優勝者は次の通 一流一等千早（浦、野澤、伊崎）二流一等中標準（藤山、中部、高屋敷）三流一等潮（永田、古川、青沼）

昭和11年2月26日 旭川新聞

清水町かるた大會

清水町のかるた同好会主催西部十勝のかるた大會は二十二日午後六時より旗亭扇家において開催せられる参加者は二流三流の十三組にして奮戦努力徹宵漸く勝敗を決しその優勝者左の如し 二流一等優勝旗副賞清水松組（木村、櫛引、貴戸）二等メダル副賞新得ツバメ（大原、丸山、片岡）三等清水流星A（菅原、伊藤、佐藤）三流一等花輪（扇屋寄贈）副賞清水流星B（佐藤、井上、相模）二等賞熊牛松ヶ枝（村瀬兄弟、大久保）三等賞清水グリフオース（長野、山田、清水）以上の如くにして翌二十三日午前六時盛況裡に散會した

昭和12年1月16日 旭川新聞

オール北見かるた大曾

丸瀬布劇場で

産業北海道加ふるに躍進工業北海道の部門を背負って立つ北見の一關門丸瀬布において、郷士北見人士の親交と人心の融和、生存競争に必要な奮闘精神養成を期して青年有志の結成を見、その一端として萎縮せる冬季スポーツを振興せんがため、丸瀬布カルタ俱楽部を創立し、本十六日を期して、オール北見下の句カルタ大曾を開催し、大いに青年北見の意氣を發揚するとのこと、なほ同大曾は賞金五十円、曾費一組三円當地劇場榮樂座において午後六時開曾、多數同好の士の参曾を望むと

昭和12年2月5日 旭川新聞

遠軽一、二流歌留多大曾

遠軽かるた同好曾主催本社遠軽支局後援にかかるオール北見一、二流かるた大曾は六日午後五時より旗亭國定家において開くこととなつたが、賞金は一流組一、二、三等合計三十九円二流組一、二、三等合計二十六円、なほ曾費は一二流とも一組三円である

昭和12年2月5日 旭川新聞

稚内かるた大曾

稚内町ホテル俱楽部主催全道かるた大曾は明六日午後八時より稚内町驛前通り○川旅館支店階上大廣間で開催することになったが曾費は一組（三人）三円にて多數参加を希望してゐる

昭和12年2月9日 旭川新聞

上川かるた曾

上川村北光俱楽部主催の歌留多大曾は去る六日午後七時より驛前集曾所において行はれた集るもの卅七名飛入出席者廿余名も加はつて熱戦を展開し午前二時散曾した

全道歌留多曾 深川町北進軍優勝

深川支局後援、北陽、北進兩俱楽部主催全道かるた大曾は六日十時より杵屋方にて開曾、近町村は勿論、遠く旭川、留萌、瀧川、歌志内等よりの出場あり参加チーム二十を數え近年めづらしき盛曾だった、何分各地のつは者の参加多く激戦又激戦、遂に翌七日晝近く、漸く戦ひ終り一流は深川北進（榎本、細川、本間）二流は音江エルム各々優勝、本社メダルは北進チームに贈られた

昭和12年2月9日 旭川新聞

北見カルタ大曾網走勝つ

網走町潮俱楽部主催本社網走支局後援北見カルタ大曾は既報の通り六日午後十時より丸三萬屋において開戦参加チーム三十組に及び大盛況裡に七日午後三時閉戦、優勝組左の通り二流一等網走潮クラブ（松田、佐藤、笹田）二等美幌麻光（西川、阿部、十河）三等網走遞友丸田（山内、大石、橋）三流一等ソラウシナイ早乙女（松村、上村、丸田）二等美幌麻光（○○、金澤、○○）三等網走遞友（○○、辻中、三上）

昭和12年2月21日 旭川新聞

士別カルタ大曾

士別町宍鷹俱楽部では本社支局後援にて来る廿七日全道カルタ大曾を旗亭北海樓で催すべく準備中である

昭和12年2月24日 旭川新聞

東部十勝歌留多大曾

豊頃村二里塚統内治水歌留多俱楽部主催旭川新聞止若分局後援の東部十勝かるた大曾は二月二十日午後六時より統内治水村上商店奥座敷において開催定刻参加せるもの十六チームに及び油田止若茂岩豊頃等より優秀なる選手多數申込みありて決戦翌二十一日午前八時頃閉曾尚統内治水後援曾より寄贈された花輪並びに本社止若分局寄贈のメダルは一流一等十勝野の吹雪A組に授與された因に優勝者左の如し

一等十勝野の吹雪A（治水チーム）植松、渡邊、葛城、二等○（豊頃）土井、渡邊、高塚
三等十勝野の吹雪B（治水チーム）西村、吉田、高塚

昭和13年2月4日 旭川新聞

全道下の句かるた大曾 五日岩見澤で

第三十四回全道下の句大曾は明五日岩見澤町二條西四丁目旗亭みよしやにおいて開催することに決定關係方面に案内状を渡したが左記了知の上多數参加を希望すると

▲曾費 三人一組三圓五十錢

▲期日 二月五日午後七時より

▲主催 梅ヶ枝俱樂部

▲賞金 六十五円也

昭和13年2月8日 旭川新聞

岩見澤の全道かるた大曾

既報第三十四回全道下の句大曾は岩見澤町梅ヶ枝俱樂部主催の下に五日午後八時より旗亭みよしやにおいて開曾、出場チームは瀧川、苦小牧等を始め全部で十八チームにて六日午後六時過ぎ終了、入賞チームは左の通り 一等岩見澤チーム、二等苦小牧、三等幾春別同

昭和17年1月9日 旭川新聞

根室戦捷かるた曾

戦捷の春をを壽ぎ愈よ團結を固め士氣を昂揚するため根室町青少年團では二十五日午前九時から花咲莊において分團對抗かるた大曾を開催する

